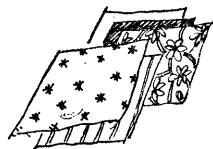


糊



堀合 文子

“この頃の子どもは糊を使いませんね” 糊を使わなくてもよろしいのでしょうか” “なぜ、糊を使われないのですか” “糊を使わないのは何か意味がありますか”

“家の子はセロファンテープばかり使っております”

こんな質問や会話が聞かれるようになりました。制作すれば糊と紙は欠かせないものだったのが今は殆んどかえりみられなくなりました。

私は此処でセロファンテープはこの様に、そして糊はこのように使えばよい、糊の使い方も決めた指で……と、細々と説明するのは簡単で、考えようによっては必要かもしれない。しかし、これだけ時代が過ぎて来たので、今の子どもたちは私共のイメージのセロファンテープや、糊とは、おそらく違った考えを持っているのではないのでしょうか。

私も事実、セロファンテープばかり使って、出来たところもべたべただし、この所は糊でした方がきれいでできるのに

……と、思った事は何度もあり、そして安易にしてみました。セロファンテープばかり使って、糊がついてくれる、あの待つ心、辛棒する心、何度つけてもはがれてしまふ、それでも又つけるあの気持。これは困った、どうしたものか、年齢がきたらまた糊を使わせてと、いろいろ思案したものです。

ここで糊だ、セロファンテープだと論ずるよりも私はこの頃思う事は、この糊のように次々と時代は流れ、今はセロファンテープ以上によいものも一杯ある。そんな時代に生まれ、成長し、生活している幼児たちで、私共がとかく昔のよきや郷愁かにこんなものもあった、こうであったと反省を混えながら考え、たしかに前の方がよいものも捨てられないものもある。しかし、一年経つと、もう変っている、あらゆるものが進歩している、たとえ昔のものをとり入れても進歩はしている。そんな時代に私はやっぱり前へ進むべきだと思えます。

あのお子さんたちが成人し社会に活躍する時は、もつともつと変っているにちがいない。糊をつけてじつとかわかしてと待ったりする所ではない。セロファンテープですぐはりついてしまうどころでもない。

そんな時代に生き、社会で活躍しなければならぬあのお子さんたちにどうしておいてあげたらよいであろう。もつともつと進歩した文化を処理できる能力、処理できるだけでなく更に進んだ文明を生みだす力、それを持つてもらいたいではありませんか。そして、その能力だけでなく世界を一手に泳ぎまわるための人と人、人類と人類との和をたもつ精神力と心。新しいすべての事柄が待っているので、糊は、セロファンテープは、等と、狭い所で幼児をみつめていては幼児がかわいそうではないでしょうか。セロファンテープを使うのが、糊を使うのが、私はどちらでもよく、もつと大きな見地から幼児をながめ、そして考えてゆかないと、幼児の中に躍動している未来への偉大な原動力はみんな保育者のために、しらないうちにつぶされてしまつてはいないでしょうか。

一つ一つの事、一人一人の幼児は大切にきめ細かに世話もし、考えもしなければなりません、これを使つたから、この頃は使わないからなどでなく、じょうずに言えませんが、

もつともつとお子さん一人一人の中にあるあの力、神様から授かった力でしようか。それをぐーんと伸張させる事を考えたらどうでしょう。

それには、保育者の一言一句、一挙一動をもう一度反省してみて、お子さんが聞いてくれたから、自分にむいてくれたから、やってくれたからという意識より、もつとお子さんの中の力を活動させる事を研究したらどうでしょうか。いくらあそんでいるようにみえても創造性を次々とつぶしている保育者もあります。小さい事を大切にしながら、大きいお子さんの中の力を引出しましょう。現代のお子さんはたしかに変化してきて前のようにはいきませんが、私は何か現代として変化しただけに将来にむけての偉大な力がひそんでいる気がしております。

糊を使つても、セロファンテープでも、他のものでも、使つたもので幼児が何か少しでもプラスになつてそのお子さんの中に育つてゆくように先ず考えていったら、日常の生活の一つ一つが大切にされ、その中で成長してゆくでしょう。糊も大切、セロファンテープも大切、何もかも彼らにとつては大切なのでしよう。

(お茶の水女子大学附属幼稚園)